

かぜ だより だいさんしゅうゆびんぶつしょうにん つうかん11962ごう2021ねん6がつ22にちほっこう  
KSKP ゆめごよみ風だより 第3種郵便物承認 通関11962号2021年6月22日発行  
へんしゅうにん とくてい かつどうほうじん かぜききんじむきょく ゆうびん533-0033 おおさかしひがしよどがわく  
編集人 特定非営利活動法人ゆめ風基金事務局 (〒 533-0033 大阪市東淀川区

ひがしなかにま  
東中島1-13-43-106) TEL06-6324-7702 FAX06-6321-5662 郵便振替 00980-7-  
40043 MAIL [info@yumekazek.com](mailto:info@yumekazek.com) WEB <https://yumekazek.com/>

かぜ なんばー95  
● ゆめごよみ風だより No. 95

うみ き なにごと いとなみつづける ひと あゆみはじめる  
海も樹も、何事もなかったように営み続ける。やがて、人も歩み始める。

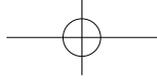
だいひょうりじ  
代表理事 まきぐち いちじ

さくねん はじめ しんがたころ なそうどう おこり 4・20げんざい へんいういるす おおあばれ  
昨年(の)の初めから新型コロナ騒動が起(お)こり、いま(4・20現在)では「変異ウイルスが大暴れ  
だいよんは ……」かんせんしや ふえて おおさか さきに1にちせんじん こえ いりようほうかい  
で第四波(よ)が……」と感染者(かんせん)が増えて、大阪(お)がま(ま)先に1日千人を超え、医療崩壊(いりょうほうかい)  
おきて ぼく 20ねんまえ たばこ1にち3はこ はい ぞうき  
起(お)きているとのこと。ボクは20年前(ねん)までタバコ(たばこ)1日(にち)3箱(はこ)だったので肺(はい)の臓器(ぞうき)をとくに  
こわし かんせん いちころ み ころな できせつ きより おつきあいにしたい  
壊(こ)し、感染(かんせん)するとイチコロ(いちころ)の身(み)。ゆえにコロナ(ころな)とは適切な距離(てきせつきより)でお付き合(おつきあ)い願(ねが)いたい  
きよりかん  
距離感(きょりかん)がつかめない。「コロナ(ころな)とたたかう」と言(い)われるが、自然現象(しぜんげんしょう)に似(に)る相手(たいおう)への対応(たいおう)  
ちがう おもう きょうせい いちころ ねらうあいて かっこ  
違(ちが)うと思う。共生(きょうせい)とも言う(い)うが、命(いのち)を狙(ねら)う相手(たいおう)なのでカッコ(かっこ)良(よ)すぎる。まあ「コロナ(ころな)に  
まけない ういるす へんい くりかえしてせいりよく ひろげよう やつき  
負(ま)けない」ってところ。このウイルス(ういるす)、変異(へんい)を繰り返(くりか)えて勢(せい)力を広(ひろ)げようと躍起(やくき)  
みえる  
見(み)える。

げんみつ じしん さいぼうぶんれつ にんげん  
ところが厳密(げんみつ)には「いきものではない」らしい。自身(じしん)では細胞分裂(さいぼうぶんれつ)できなくて人間(にんげん)などに  
きせい ぞうじょく ちいさなういるす ちよっけい1みり 1まんぶん 1  
寄生(きせい)して増殖(ぞうじょく)するという。ごくごく小(ちい)さなウイルス(ういるす)(直(ちよ)径(けい)1ミリの1万(まん)分の1(ぶん)ほど)が、  
ちよっけい 1まん3せんきろめーとる ちきゅう うえ くらすやく77おく にんげん うおうさおう  
直(ちよ)径(けい)およそ1万(まん)3千(せん)kmの地球(ちきゅう)の上(う)で暮(く)らす約(う)77億(おく)の人間(にんげん)を右(みぎ)往(おう)左(さ)往(おう)させている  
ふしぎ ちきゅうじょう みやんまー じんしゅしゅぎ ききせまるじょうたい  
不思議(ふしぎ)。いま地球(ちきゅう)上(じょう)では、ミャンマー(みやんまー)などあちこちで民主主義(じんしゅしゅぎ)の危機(きき)迫(せま)る状(じょう)態(たい)だとい  
ふに。

ちきゅうじょう だいもんだい さんせき …… ぼく かいせつ せいじがらみ  
いま地球(ちきゅう)上(じょう)は大(だい)問題(もんだい)が山(さん)積(せき)している…… だがボク(ぼく)には解(かい)説(せつ)すらでき(き)ない政治(せいじ)がらみ。  
ほんし94ごう つづいてとうほく ひと つなみ じつたいけん おもわずはっせられたこえ なか  
こ(こ)こでは本誌(ほんし)94号(ごう)に続(つ)いて東北(とうほく)の人(ひと)たちの、津波(つなみ)を実(じつ)体験(たいけん)されて思(おも)わず発(は)せられた声(こえ)の中(なか)  
ぼく のうり やきつ いたことば おもい めぐらせて すうねんまえ  
から、ボク(ぼく)の脳裏(のうり)に焼(や)きついた言葉(ことば)に想(おも)いを巡(めぐ)らせてみたい。数(すう)年(ねん)前(まえ)のことだ(だ)った。  
ひがしにほんだいしんさいかんれん てれびばんぐみ らじお なん きいて 20 30  
東(とう)日本(にほん)大(だい)震(しん)災(さい)関(かん)連(れん)のテレ(てれ)ビ番(ばん)組(ぐみ)(ラジ(らじ)オ(お)だ(だ)ったか(か)も)を何(なん)となく聴(き)いて、ま(ま)だ20(にじゅう)～30(さんじゅう)  
だい おもえるせいねん はつげん おもわずききいって  
代(だい)と思(おも)える青年(せいねん)の発(は)言(げん)で、思(おも)わず聴(き)き入(い)ってしま(しま)った。

とき おやじ のみこんだつなみ にくい かんがえて つなみ  
「あ(あ)の時(とき)、オヤジ(おやじ)を呑(の)み込(こん)だ津波(つなみ)がと(と)ても憎(にく)い！ だ(だ)けど、どう考(かん)えても津波(つなみ)を  
にくみきれないん ちいさいころ うみ かたわら うみ  
憎(にく)み切(き)れないんだ。な(な)ぜって、小(ちい)さい頃(ころ)から海(うみ)は(は)すぐ傍(かたわら)らに(に)あ(あ)って……海(うみ)がオヤジ(おやじ)やオ(オ)フク  
そだてて き うみ ないくらし かんがえ  
口(く)みたいにボク(ぼく)を育(そだ)ててく(く)れた気(き)がする(する)んだ、や(や)っぱり！ 海(うみ)が無(な)い暮(く)ら(ら)しな(な)んて考(かん)えられ



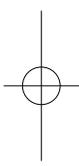
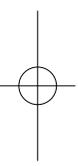
ない。この海もボクの血となり肉になってるんよ。津波に化けてオヤジを奪った海だけど、いまは知らん顔して嘘のように静かに波打ってる。思わず笑ってしまうんだ」と語ったのだ。

つい先日まで、わがアパートにほど近い大阪城公園の桜は満開をすぎ、落ちた花卉で園内の道という道を淡いピンクに染めていた。いまはツツジの紅や桃色や白の花びらが、コロナ騒動など知ってか知らずか咲き誇っている。まもなくアジサイの季節。桜の頃、昨年もお花見の宴は自粛された。コロナ騒動がなければ、あさ早くからビニールの敷物を抱えた新入社員らしき若者が、9時間ほど後に展開される宴会に備えて陣取り合戦中だったはず。それほど賑わう場所なのだ。この辺りを散歩するボクは〈ことしも始まったな〉と下戸なのにウキウキする。いまは別世界のごとく人はまばら、それでも少しは広々した公園の空気ぐらひは吸いたいと思われたのか、人出は昨年よりやや多め、コロナ慣れなのかな？

思わず「散歩」なんて書いたが、じつは電動車いすに乗るまで散歩を知らなかった。けど今は「自粛、自粛」に耐え切れず、外堀一周コースをよく散策する。電動車いすですぐ1時間ちょいの道程。春めいて身体が散歩に出ようとうごめき出す。だけど、樹々や花々に囲まれた道は、つい医療崩壊の現実を忘れさせる。花たちは騒動など知らん顔

松葉づえで60才まで、それからの20数年は手動式 → 電動式車いすで人生を歩いてきた。若かった頃は松葉づえの辛さをあまり気にしなかった。でも、思えば近道ばかり歩いてきたようだ。電動車いすなら疲れない。散歩に車いすは最適な乗り物に思える。

病院通いと散歩が日課になって、齢を重ねるのも悪くないなあ.....と、コロナ漬けの毎日ですごしつつ、改めて「自然」のふところの深さを思う。若者を父母のごとく育ててくれた海、そして花見宴会とコロナ自粛などは深くつながっているようで自然界のほうは知らん顔のようにも見える。そんな折、A紙朝刊のコラムに「つらい記憶もある。それでも楽しい思い出が時を経て重みを増すから、たぶん人は歩いていける」とあった。



## 総会報告 理事 やはた たかし

3月27日(土)にゆめ風基金の定時総会(第20回)が行われました。今回はコロナ禍のため、初めてZOOM(WEB)を利用しての会議となりました。初参加やお久しぶりに参加してくださった方もおられ、委任状も含め51名(正会員総数70名)となり、過去最大の参加者数となりました。

議案としては、いつも通り、昨年度の事業報告、会計報告と今年度の事業計画、活動予算などがあり、承認されました。昨年は新型コロナウイルスの影響で被災地に赴くこともできず、講演等も激減した年となりました。令和2年7月豪雨では地元の方とやり取りをし、1,250万円余りの支援金を届けることができました。また定款改正を行い理事定数増員及び2名の新理事の就任も可決されました。新たな理事はうちだひとみさん、いしばしひろあきさんのお二人です。

今回は参加者も多かったことから、総会後の意見交換に時間を割き、各地の状況などを話していただきました。ZOOMとはいえ、顔を見ながらの報告はとてもうれしく、頼もしくも思いました。今後はゆめ風ネットだけでなく、ゆめ風応援団も増やしていき、各県でネットワークをつくっていきましょうという話も出ました。新型コロナが終わっても、会場参加とWEBでの参加者を集めた総会が定着すると感じました。

### 新理事から一言

うちだひとみ 兵庫県神戸市で生まれ、先天性骨形成不全症としてのびのび育つ。中学一年生の時に阪神・淡路大震災に遭い、神戸市東灘区の自宅で震度7を経験する。大学から大阪で一人暮らしを始め、現在は介助者と共に大阪市住之江区で自立生活を謳歌している。NPO法人自立生活むちゅーセンターの当事者スタッフとして11年目。センター内で防災担当をし、住之江の地域交流をすすめ、楽しみながらまちの防災力を高めていくことに力を入れている。2020年から私たち重度障害者の自立生活も新型コロナウイルスによって脅かされているが、それでもあきらめたくない。この緊急事態においてもピンチをチャンスに変えて、仲間みんなと命や暮らしをまもりあい、工夫しながら過ごしていきたい!

いしばし ひろあき はんしんあわじだいしんさい とき ぜんこくかくち しえん いただきました ひさい  
阪神淡路大震災の時に全国各地から支援を頂きました。被災して  
こと きんじょつきあい たいせつさ かんじ かせつじゅうたく つかいにくさ  
わかった事は、近所付き合いの大切さを感じました。仮設住宅の使いにくさは言うまでも  
こと わたし ばあい もどるじたく じゅうみんひょう じゅうしょ  
ない事です。私の場合は戻る自宅がないため、住民票の住所をポートアイランド  
じんこうとう かせつじゅうたく かえ ちゅうきんじょがいしやう きげんぎれ ちかづいて  
(人工島)の仮設住宅に変えたのですが、駐禁除外証の期限切れに近づいているのに  
き つき けんけいほんぶ きりかえ かせつじゅうたくない ちゅうしゃじやう みとめ かせつじゅうたく  
気が付き県警本部に切替に行くと、仮設住宅内は駐車場とは認められず、仮設住宅  
かんりぶじやう けんけい なんおうふく みとめ ひにちじやう さい やりとり ふまえさいがいじ  
管理部署と県警を何往復かして認められました。非日常の際のやり取りを踏まえ災害時、  
こんごみなさん んいつしよ いきたい おねがい  
今後皆さんと一緒にやって行きたいとおもいます。よろしくお願ひします。

ひがしにほんだいしんさい 10ねん ひさいち こうへん  
東日本大震災から10年 被災地から 後編

へんしゅうぶちゆう 2021ねん1がつ げんこう  
(編集部注 2021年1月にいただいた原稿です)

しんさい 10ねん いまおもう ふくしまけんにはほんまつし  
**震災から10年・今思うこと 福島県二本松市**

えぬびーおーほうじん こーひーたいむだいひょう はしもと ゆりこ  
**NPO法人コーヒータイトム代表 橋本 由利子**

はやい かん  
早いもので震災と原発事故による避難をし、新たな地域で生活を始めて10年になります。その間、  
おおく かたがた しえん ほうしゃのうひが い さきなんねん ふるさと もどって  
多くの方々のご支援をいただきました。放射能被害により、これから先何年も故郷に戻ってコーヒータ  
はじめ にほんまつ きよてん つくろう かんがえた 7ねんまえ さい かぜきん  
イムを始めることはできない、二本松で拠点を作ろうと考えたのが7年前です。その際ゆめ風基金には  
たいへん おせわ いま 28めい どうろくしゃ じむしょけんさぎょうじょう わかみやじむしょ てんぼ  
大変お世話になりました。おかげさまで今では28名の登録者が事務所兼作業場の若宮事務所と2店舗  
きつさてん ひびしごと りょうしゃ じもとにほんまつし きんりん かたがた  
の喫茶店で日々仕事をしています。利用者のほとんどが地元二本松市や近隣の方々です。  
せんげつ じこ おこした ふくしまだいいちげんぼつ はいるきかい げんぼ つなみ ひが い おおく  
先月、事故を起こした福島第一原発に入る機会がありました。現場は津波の被害もそのまま、多くの  
さぎょういん ぼうごふく きた せんりょうけい き さぎょう すすめ じこ 10ねん たったいま  
作業員が防護服を着たまま、線量計を気にしながら作業を進めていました。事故から10年経った今で  
げんじょう ねん いわれて はいる むけたさぎょう  
もこの現状では、これから30年～40年かかるだろうと言われている廃炉に向けた作業が、いかに  
むずかしい そうぞうで き げんぼつじこ じゅうだいさ あらためてしったおもい  
難しいかが想像出来ました。そして原発事故の重大さを改めて知った思いがしました。  
らいねんど げんぼつ 10きり はなれて なみえまち しょうきぼ さいかい  
来年度、その原発から10キロしか離れてないふるさと浪江町で小規模ですがコーヒータイトムを再開しよ  
けいかく にほんまつし つづく せだい  
うと計画しています。そして二本松市でのコーヒータイトムもこれから10年、20年と続くよう、世代  
こうたい いそいで  
交代を急いでいます。

しんさい おもう たくさん あらた ちいき かつどう できた えられた  
震災さえなかったらと思うことも沢山ありました。しかし新たな地域で活動が出来たことで得られたこ  
たくさん しょうがい ちいき いちいん かつやく かんきょう  
とも沢山ありました。これからも障害があっても地域の一員として活躍できるような環境づくりを  
すすめて おもって こーひーたいむ がんばり みまもって  
進めていきたいと思っていますので、コーヒータイトムの頑張りをこれからも見守っててください。  
れいわ ねんいちがつじゅうよっか  
(令和3年1月14日)

ねん たって みやぎけんいしのまきし えぬびーおーほうじんしょう しゃ いしのまき だん  
**10年経って 宮城県石巻市 NPO法人障がい者ベース石巻によつきり団 みた あきこ**

あき ひがしにほんだいしんさいきゅうえんほんぶ ごしえん もと ひさいちしょう しゃせん た いしのまき  
2011年の秋に、東日本大震災 救援本部のご支援を基に「被災地障がい者センター石巻」ができ  
けんが い ぼらんてい あ じもと しょう しゃにめい ちゅうしん はじまったかつどう わたし じもと  
ました。県外からのボランティアと地元の障がい者2名が中心になって始まった活動に、私は地元  
ざいじゅう すたっふ くわ  
在住のスタッフとして加わりました。

やく10ねん あいだ かわった おもいつく なら  
あれから約10年。その間に変わったことなどを思いつくまに並べてみます。  
だんたい ひさいちしょう しゃ いしのまき えぬびーおーほうじんしょう しゃ いしのまき だん  
・団体が「被災地障がい者センター石巻」から「NPO法人障がい者ベース石巻によつきり団」  
こうせい かわり じむしょ 2020ねん7がつ たいきょ げんざい だいひょう わたし じたく  
になりました。メンバー構成も変わり、事務所は2020年7月に退去。現在は代表である私の自宅を  
れんらくさき かいごう こうきょうしせつ りょう  
連絡先とし、会合などには公共施設を利用しています。

ひさいちしょう しゃせん た いしのまき あつまって しょう じ おおく いしのまきえんがっこう かようちゅうがくせい  
・「被災地障がい者センター石巻」に集まっていた障がい児の多くは石巻支援学校に通う中学生や  
こうこうせい かれら げんざいせいじん ない しせつ はたら  
高校生でした。彼らは現在成人となり、それぞれ市内の施設で働いています。

いしのまき ふうけい おおきく かわりました どうろ はし ていぼう じゅうたく こうきょうしせつ せいび  
・石巻の風景は大きく変わりました。道路や橋、堤防、住宅、公共施設などが整備されました。  
げんざい どうろ はし けんせつこうじ つづ  
現在もまだ道路や橋の建設工事が続いています。  
とき とも かわって わたし とし とりました だれ くらしやす  
時と共にいろいろなことが変わっていきます（私も年を取りました）。ただ、「誰もが暮らしやすい  
いしのまき ねがい だんたい こじん こんご もちつづけて おも  
石巻」への願いは団体として個人として今後も持ち続けていきたいと思っています。

東日本大震災を経験し今あらためて思うこと

岩手県一関市 NPO法人 ひびき 杉山 浩

私たちNPO法人ひびきは、岩手県いちのせきし せんまや町内、障害児支援や子育て支援等の活動を行っています。東日本大震災では施設内外装の破損や備品の損壊などの被害があり、給湯設備の破損によりお湯が使えない状態が長く続いたため、16日間活動休止を余儀なくされました。東日本大震災を経験し今あらためて感じることは、自分たちにできることを為しそれを継続していこうという思いです。震災後数か月経過した後に被災地支援として自分たちができることを考えた末、陸前高田にある障害児支援と子育て支援の場所に音楽と美術の遊びを提供するため9か月間に17回訪問しました。また、重症心身障害児とご家族のためのプログラムを気仙沼市内等で行いました。災害に対する警戒を怠らないということもそうです。災害規程の見直しや、発電機を購入し備蓄品の追加等を行いました。また、現在はコロナ禍の上に大雪と厳しい寒さです。例年とは違う感染症対策をしながら、屋根からの雪や氷柱の落下、路面凍結による転倒防止対策などなど、大小問わずできることを行っています。東日本大震災から間もなく10年になろうとしています。震災を経験することで得たことを忘れずに、これからも日々の活動に活かしてこうと思っています。

阿部さんの新聞記事

ネットからこんにちは 14

宮崎 障害者自立応援センターYAHIDO (ヤッド) もり めぐみ
地域とのつながり

3月27日、ゆめ風基金の総会がZOOMで開催され、初めて参加させて頂きました。自己紹介で八幡さんから「宮崎は永山さんのはずが若い女性になってる」と前置きがあり、自己紹介をしました。総会后、永山さんにゆめ風を知ったきっかけ、いつからネットみやざきができたのか話を聞きました。宮崎で2005年に起きた台風14号のときに八幡さんが支援に駆けつけて下さり、宮崎で災害が起きたときの災害拠点を作るためにネットみやざきを立ち上げたと聞きました。現在私は、ヤッドで活動して4年目になります。ヤッドの活動と共に自立支援協議会の災害について協議する部会で月一回会議に参加したり、地域の地区社協の理事になり、障害当事者の立場から災害についての勉強会や研修会等で発信をしています。自立支援協議会に入る前までは「災害が起きたら助からないだろうな」と命を諦めていました。ですが、協議会で障害者(要配慮者)の災害対策について協議する中で、自助・共助・公助という言葉や自治会や民生委員の役割等、様々なことを知る中で地域との繋がりの大切さを感じるようにな

りました。コロナ禍になり、より地域との繋がりが希薄になる中どうすれば誰も取り残さないようにできるか、皆で考え、様々な視点から知識や知恵を出し合って、いつ起きかわからない災害への備えをしていくことの必要性を感じます。

しまね かぜね っ と  
島根 ゆめ風ネットしまね おおた あきお  
つながる・つなぐ・つながり

くまもと だいしんさい 5ねん くまもと しまね いま しょうがいしゃろうどう  
熊本の大地震から5年。じつは熊本と島根は今もずっとつながっています。くまもと障害者労働センターの代表・くらモンこと倉田哲也さんと島根県各地と直結。そしてもう一つ、震災直後、チームで訪問したある男性です。

かれ すこ しんさいご ときどきでんわ おもいなやんで あせり つのる  
その彼について少し…。震災後、時々電話がかかってくるようになりました。いろいろ思い悩んで、焦りが募ると電話。何を話すでもない。傍目にはそんな中身で？ と思うような話題です。そのつらさをはきだす「うっわ」みたいな立場とでもいえるのでしょうか。

そこにコロナです。彼を悩ませる問題がウワツと出てきた。私は私で、そのコロナでリモート会議の日々でした。ふと思いついて、彼にビデオ通話を提案しました。これまで声だけだった相手と、顔をみながら話す。彼にとってはけっこう高かったはずのハードルも、意外にすんなり。声も大きくなり、顔を上げ視線を合わせて話せるように。

とき しまね たいしょ じたい しょうじ ころなか なか かていほうもん くりかえ い  
そんな時、島根では対処できない事態が生じ、コロナ禍の中、家庭訪問を繰り返しました。と言っても、これが今回一番伝えたい「リモート家庭訪問」。

ふくすう ぎょうせい ちから ひつよう しまね わたし でんわぐち せつめい こじんじょうほうほご たかい  
どうしても複数の行政の力が必要でした。島根の私が電話口で説明しても「個人情報保護」の高い壁！「とにかく一度家庭訪問を」と説得して、その訪問時に私がリモートで立ち会う。訪問者への事情説明で彼が困ったら助言します。「うまく言えとるぞ！」と驚くことも。

つか おも ちよくせつい かお み て ようす き ぎょうせい  
これは使える！と思いました。直接行けなくても、顔を見て様子を聞けます。行政と「つなぐ」こともできます。コロナ禍の中での、小さな発見でした。

# リレー・エッセイ さいがい しょうがいしゃ だいろくじゅうはちかい 災害と障害者 第六十八回

ねが  
ぼくの願い すが ともや  
(プロフィール)

ねんう まれ とくていひ えいりかつどうほうじんじりつせいかつせん た 一まつやまり じ ながいきかん へ てまっきじんふぜん げんいんふめい  
1985年生まれ。特定非営利活動法人自立生活センター松山理事。長い期間を経て末期腎不全(原因不明)とな  
さくねん9がつ じんいしょく う ご いちじ たいいん かんせんしょう げんざいにゆういんちゆう じぶん かぞく  
り、昨年9月に腎移植を受ける。その後、一時は退院するものの感染症にかかり現在入院中。自分を、家族を、  
ゆうじん なかま め まえ ひと たいせつ おもえる きょう ごろ  
友人を、仲間を、目の前にいる人を大切にしたいところから思えるようになった今日この頃。

## さいがい ・災害ってなんだろう

さいがい き おそ じっさい おそ たと ぜんさいがい  
災害って聴くだけで、なんだか恐ろしい。実際、たしかにとても恐ろしいものだ。例えば「自然災害」  
がある。けれど、うみやま だいち しぜん いとなみ なか げんしょう にんげん くしゃみ  
海も山も大地も、自然の営みの中の現象として、人間がクシャミをするみたく、  
じしん おこして す ちきゅう い しぜん にんげん あ  
地震などを起こしているに過ぎない。地球も生きています。自然とともに、人間がどう在るかをぼくは  
たいせつ  
大切にしたい。

じんさい よ ばれる げんぱつじこ しぜん いちぶ にんげん つくりだ じぶん まい たね  
「人災」と呼ばれる原発事故は、それも自然の一部である人間が作り出したもの。自分で蒔いた種を  
じぶん かりと じぶん といつづ  
自分で刈り取っていくように、自分ごととして、どうしていけばよいか、これからもずっと、問い続けて  
いきたい。

せんそう ことば おそ なまぐさいち にお かんが  
「戦争」なんて、言葉にするだけで恐ろしい。生臭い血の匂いがする。けれど、そう考えたらなんだ  
か、どこか遠い国で起きていることのようにも思える。でも実は、戦争はぼくのころの中でも起きて  
とおいくに お おも じつは せんそう なか お  
いる。何が正しいかなんて、そんなものは存在しない。ケンカしてるぼくとぼくの言い分を、ぼく自身  
なに ただ そんざい いいぶん じしん  
が大切に受け止めると、ころが平和になる。

か さいがい い ぜんせかい たいへん お  
コロナ禍も災害と言われている。それだけ全世界で大変なことが起きている。けれど、コロナウイ  
いっしょうけんめい おも わざわ なに うけと  
ルスも一生懸命生きてるのだと思う。災いととらえるか、それを何かのメッセージとして受け止  
き いきかた おも  
め、気づけるかどうかでずいぶん生き方もかわってくるように思える。

## しょうがい ・障害ってなんだろう

さいがい しょうがい に き さいがい しょうがい にんげん めせん つく だ ことば  
「災害」と「障害」って、すこし似ている気がする。災害も障害も、人間の目線で作り出した言葉  
げんしょう お できごと ほんとう いみ ひつよう  
だからかもしれない。現象として起きている出来事に、本当はことばも意味も必要ないのかもしれない。

お げんしょう じんぞう きのう さくねんくがつ ちち  
ぼくのからだに起きた現象は、腎臓が機能しなくなったということ。それで、昨年9月に父がドナーと  
せいたいじんいしょくしゅじゅつ いた ちち さいいしょ いっかん いしょく いっさい まよ  
なり、生体腎移植手術をするに至った。父は最初から一貫して、移植することに一切の迷いもな  
こきゅう じんぞう ていきょう えら さいご さいご いしょくしゅじゅつ  
く、呼吸するかのよう、ぼくに腎臓を提供するみちを選んだ。ぼくは最後の最後まで、移植手術  
う じぶん き おもみ はかりしれ  
を受けることを自分で決めることができなかった。いのちの重みは、計り知れないものだから。ただ、  
いしょく くるしみ かてい なか しらぬあいだ りょうしん むじょう あい み  
移植しようがしまいが、その苦しみの過程の中で、知らぬ間に両親からの無上の愛にぼくは満たさ  
きすな ふか いこう おも  
れ、きょうだいの絆は深まっていった。それ以降、すべてがしあわせと思えるようになった。どのよう  
じょうたい じぶん あい い たいせつ おも  
な状態になったとしても、自分を愛して、生かされているこのいのちを大切にしようと思えた。

に ど きよぜつはんのう いちじ たいいん こんど しんきん しょう 40ど  
二度の拒絶反応はあったが、一時は退院。しかし今度は真菌(カビ)症にかかり、40℃を  
こえる こうねつ はいえん お きゅうきよさいにゆういん いっしょうけんめい  
超える高熱や肺炎なども起こしていることから、急遽再入院となった。カビも一生懸命

生きてるんだなあと思う。いのちの重みを改めて気づかせてくれた真菌さんに、ありがとうって気持ちで向き合った。

## ものごとの本質

感染症は改善しつつあるが、移植した腎臓が思わしくなく、今後どうなるかの見通しはわからない。気づけば昨年9月から4月現在までのほとんどを、この病院で過ごしているように思う。ここは海も山も近い。今の季節は潮干狩りをしている人や、鳥たちはクチバシに枝をくわえて大空を舞いつつ巣作りをしている。さくらは舞い散り、勢いよく緑が芽吹いている。足元を見れば、たんぽぽや野に咲くすみれの花。

この空や海たちを眺めていたら、ぜんぶは循環していて、そこに障害をもつ自分も当たり前にいるだけのような感覚になる。そこに良いも悪いも存在しない。色んなことがあるけれど、災害も障害も、それらの現象をどうとらえていくか。すべてはぼくの中にあつて、ぼくはすべての中の一部でもある。

そのまんまでいく

だからといって何にも悟れてもいない。相変わらず弱くて脆くてカッコ悪くて、不安だし情けなくって、言葉にできない魂の叫びみたいなものを、ひしひしと感じている。それでいい。弱さを受け入れる勇気をもつことができたから。

自分自身だけでなく、ギスギスしたこの社会に対しても感じている。その葛藤に対して、答えを出そうとはしていない。ありのままを受け入れ、あきらめずに向き合い続けていくことを大切にしている。

ゆめ風の想い、みんなに届け

無力であるからこそ、人と人とのつながりの尊さに気づき、感謝のきもちでいっぱいになる。たくさんの犠牲や涙の結晶とともに、それらがカタチとなってこの世に産声を上げたのが、ゆめ風基金。ぼくはそう思っている。

起こる出来事のひとつひとつを、次なる一歩の過程とし、ぼくらにできることを、できるときに行い、みんなにとって豊かな未来へとつなげていく。それが、ぼくがこうして生かされている意味なのだと思う。

かんぽ だんたい 2020/12-2021/02  
カンパをいただいた団体 2020/12-2021/02

おみせ ぼきんばこ おいて がいどうぼきん ぼざー イベント あつめて  
お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださっています。本当にありがとうございます。(もし掲載漏れがありましたらどうかお許しください)

2020年

12/7 やました甲乙鍼灸院（大阪市中央区）

- 12/8 とくゆうじ（長崎県南松浦郡）、久保田潤一郎クリニック（豊島区）
- 12/9 北巢本保育園（門真市）
- 12/10 出発のなかまの会（生野区）
- 12/11 ベル・カテナ（越谷市）、NTP 事業所（東淀川区）
- 12/15 でんでん虫の会（加東市）、カトリック枚方教会・社会活動委員会（枚方市）
- 12/16, 1/15, 2/16 健康アメニティたのし（新宿区）
- 12/17 ケーエム・ジェイ（郡山市）、日本聖公会大阪教区婦人会（阿倍野区）
- 風のファーム（佐野市） 豊中友の会（豊中市）
- 12/22 AJU 自立の家（名古屋市）、清心中学校・清心女子高等学校（倉敷市）
- 12/23 介護福祉センター北大阪（摂津市）

12/25 かがやき工房（旭川市）

2021 年

- 1/6 ビー・カンパニー(岐阜市)
- 1/7 ネットきくがわ（菊川市）
- 1/8 大阪聖愛教会(天王寺区)
- 1/13 聖愛園(東淀川区)
- 1/18 聖バルナバ病院礼拝堂(天王寺区)
- 1/18, 2/18 ホームベース(枚方市) 、自立生活センター立川（立川市）
- 1/21 豊能障害者労働センター(箕面市)
- 1/27 フジテクノ(川越市)
- 2/2 作業所こまどり（今治市）
- 2/8 作業所 ゆう（三田市）
- 2/11 府中・市民交流会（府中市）
- 2/16 合同会社 ABC 研究所（北九州市）
- 2/18 かまくら福祉・教育ネット（鎌倉市）
- 2/22 認定こども園プール幼稚園（東住吉区）

**事務局のうごき 2021年1月から3月の動きを一部ご紹介しします。**

- 1/11 み え け ん し ゃ かい ふ く し し かい こう え ん  
三重県社会福祉士会講演
- 1/15 ゆ め ご よ み りんじごう りょうしゅうしょはっそう  
ゆめごよみ臨時号・領収書発送  
きょうどうつうしんしゅざい  
共同通信取材
- 1/25 おおさかきゅうせいき そうごういりょうせんたーこうえん  
大阪急性期・総合医療センター講演
- 2/21 う え ぶ ふ り か え る 10ねん  
「webで振り返るこの10年」イベント
- 2/25 りじ かい  
理事会
- 3/10, 11 ごうはっそうさぎょう  
ゆめごよみ 94号発送作業
- 3/10~12 あ べ と う ほ く ほう も ん  
阿部、東北訪問
- 3/17 おーえすえぬ おおさかさかがい かいぎ  
OSN(大阪災害ネットワーク)会議
- 3/21 さいがいがい ふくしけんきゅうがつかいさんか  
災害福祉研究学会参加
- 3/25 じやいか こくさいきょうりよくき こう ちゅうがくせい しゅざい  
JICA(国際協力機構)中学生プロジェクト取材

東北訪問記

事務局 阿部 俊介

今年で東日本大震災から10年になるので地元、宮城県を訪れました。3月11日には女川町と大川小学校に。午後2時46分、石巻ひよりやまで黙禱。夕方には「障がい者ベース石巻によつきり団」の箕田さんたちと会い、石巻の現状報告をしてもらいました。翌日は、南三陸方面をまわり、防災庁舎で合掌。このあと、「奏海の杜」にお邪魔して、太齋さんにお話を伺いました。今回、一年ぶりに地元石巻市に帰りましたが、町や道が初めて来たように思えるくらいの変りかたでした、住み慣れた所なのにナビを見たり、人に聞かないと目的地に行けないのが情けなかつたです。復興はありがたいですが、変わりすぎた石巻市を見て正直がっかりしました。復興=壊すと言うことなのかと私的には思いました。今後は、誰でも住みやすい石巻市になってくれることを強く願います。

会計別紙

そよ風、つむじ風、六甲おろし 各地からの風だより 2020/12-2021/2

◆日本中の作業所がコロナに活動を阻まれ支援下さる方も利用者もストレスいっぱい。早く収束しますように(尼崎市)◆よいお年をお迎え下さい。正しい生き方のできる人になりたいですね(浜松市)◆日常の看護、介護、保育スタッフの処遇軽視がこの国の、国民の有権者の責任です(杉並区)◆基金が有効に使われてるのがわかり嬉しいです。たよりを見て希望の光を感じました(横浜市)◆NO.93 いただきました。皆様のパワーのすごさに、いつも圧倒されております(北区)◆世の中とつながっている証明のつもりで送ります(江東区)◆息子は脳性マヒです。コロナ禍親子共々ががんばっています。よろしく!(新宿区)◆80才になり仕事はやめました。少しですが入金します(前橋市)◆生き辛さが加速する世の中、助け合い思いやる気持ちだけは失いたくものです(船橋市)◆コロナ禍にあっても自然災害は容赦なく起きてることに思いをめぐ

らせました。避難所訓練は大切だと思います(宝塚市) ◆マスクの下は笑顔でと思っています  
(若林区) ◆「各地からの風だより」いろんな地域メッセージを拝見して皆さんのように私も参加  
ます(湖南省) ◆ 温かいお雑煮が食べれますように(小松市) ◆コロナ収まりません。近年上を  
向いて歩こうの歌がよく流れて永さんのこと思い出しています！最近顔を7針ホチキスされました  
が針は取れて少し痛いですが救急車も呼ばずに誰にも言わず朝叱られた(小金井市) ◆今年も  
年末のバイトで少し稼ぎました。心ばかり振込させて頂きます(杉並区) ◆コロナ禍の中、災害時  
や障害者への支援大変と思いますが宜しくお願い致します(さいたま市) ◆これからも信頼に  
値する団体でありますよう希望します(藤沢市) ◆「命こそ宝」…の祈りを込めて送りたい先  
が増えるばかりです。お許しを(兵庫県) ◆怒りとか虚しさとかの言葉を越えた皆様の活動。平常  
心で続けるバイタリティーにいつも励まされています。どうぞ今年もよろしくお願いいたします  
(松江市) ◆辛抱の時。今しばらく続くようですが呼吸して空を見上げて足元をしっかりと見て  
(滋賀県) ◆いつもながら一年間の領収証ありがとうございます。「臨時号」各地の皆様のふん  
ばりが手にとるように掌握できました。文字も大きくて読みやすかったです(清瀬市) ◆2・13発  
生した地震の被災者支援に当たって下さい(佐久市) ◆今の困難な時に、永六輔さんだったら…と  
時々思います(千葉市) ◆青田由幸さんの「10年目」のふくしま、牧ロー二さんの「命のランク  
分け」はとさせられる名文でした。ありがとうございます(大阪府) ◆カード決済ができればもっ  
と送金できるのですが、少額ですみません。事務局の方ごろうさまです。よろしく(上川郡) ◆  
私は精神障害者ですが、毎日五時間だけ働いています。少しですが送ります(香川県) ◆昨年  
なくなった次男のピン預金の中身です。夏に石狩海岸で行われたイベントに行く予定でした  
(札幌市) ◆会報を読むときは、パート先の障害者の方々や知人たちのことを考えています。そし  
て全国の仲間たちのことも(横浜市) ◆タイと日本の障がいのある若者たちが作った「ひまわりコ  
ースター」の売り上げに応じて寄付をします(佐賀県) ◆東日本大震災から10年。被災された  
方々の生活は元に戻ったのか気になります(大阪市) ◆小銭を貯めた御老人から『どなたかの為  
にどうぞ』とお預かりしたものです(入間市) ◆当方86才になりました。生きている限り応援します  
(静岡県)

ゆめ風ブログ(<https://yumekazek.com/blog/>)にも掲載しています)

編集後記

●新入職員の阿部さんが故郷・石巻など被災地を回ってきました。あまりの変わりように自宅跡地さえわからなかったそうです。海岸線に建つコンクリートの防潮堤は高さ8メートル以上。全く海が見えません。海とともに生きてきた方はこの「壁」をどう感じているのか？ この防潮堤は役立つか？ 今なお仮設住宅に住む方をなんとかできないのか？ 様々な疑問が頭を駆け巡ったそうです。(長)

ゆめ風ネットワーク連絡先[faxは06-6321-5662迄]

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟 024-232-7522 三条 0256-34-2448 JDS(東京) 03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ

0537-35-8303 本庄 0495-24-8902 新潟 024-232-7522 三条 0256-34-2448

愛知 052-841-9888 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-27-2621 三重 059-202-5782 滋賀 077-543-2844 京都 0774-93-3277 JCI L(京都) 075-671-8484 奈良 0745-42-2919 わかやま 0737-82-4060 伊丹 072-783-4991 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 岡山 0866-97-0206 ひろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9551 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 宇佐 0978-32-3365 ながさき 0957-46-3858 諫早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かがしま 0994-63-8855 沖縄 098-958-2912